

# DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド <DC年金>

追加型投信／内外／債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に内外債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年4月19日～2025年4月11日

|                     |                |            |
|---------------------|----------------|------------|
| 第12期                | 償還日：2025年4月11日 |            |
| 償還日<br>(2025年4月11日) | 償還価額           | 18,576.87円 |
|                     | 純資産総額          | 1百万円       |
| 第12期                | 騰落率            | 25.4%      |
|                     | 分配金合計          | 0円         |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

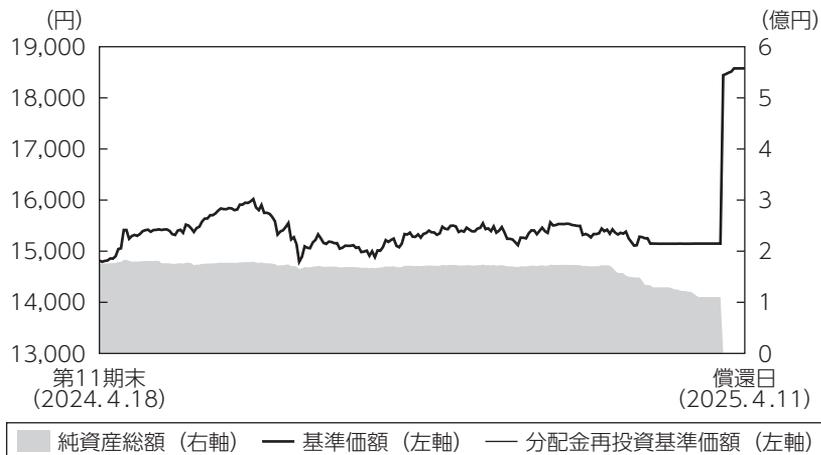
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

## 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

## 基準価額の主な変動要因

当期中は、米国やドイツの中短期セクターの国債金利が低下した一方、グローバル社債のクレジット・スプレッド（米国債と社債の利回り格差）は縮小しました。金利低下を受けて投資適格社債、MBSの債券価格が上昇した環境下、投資適格社債、MBSの保有などがプラス要因となりました。一方、主要国通貨は対円で下落しました。このような中、債券のプラス要因が為替のマイナス要因を上回り、基準価額は上昇しました。

当ファンドの基準価額は設定来で85.8%上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金0円）。設定来では、米国やドイツの国債金利が上昇傾向となる一方、グローバル社債のクレジット・スプレッドは縮小しました。市場環境に応じて相対的に利回りの高い投資適格社債、ハイイールド社債および証券化商品へ機動的に配分したことがプラス要因となりました。主要国通貨は対円で上昇しました。このような中、債券、為替ともプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。

## ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

| 組入ファンド  | 騰落率  |
|---|------|
| D I A Mケイマン・ファンド—Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2 | 2.9% |
| D I A Mマネーマザーファンド                                       | 0.1% |

- (注1) D I A Mケイマン・ファンド—Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。
- (注2) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間（2025年2月18日まで）の騰落率です。

## 1 万口当たりの費用明細

| 項目                  | 第12期                        |                  | 項目の概要  |
|---------------------|-----------------------------|------------------|--|
|                     | (2024年4月19日<br>～2025年4月11日) |                  |  |
|                     | 金額                          | 比率               |  |
| (a) 信託報酬            | 118円                        | 0.766%           | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は15,457円です。<br>投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価<br>販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価<br>受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (投信会社)              | ( 37)                       | (0.237)          |  |
| (販売会社)              | ( 75)                       | (0.485)          |  |
| (受託会社)              | ( 7)                        | (0.043)          |  |
| (b) その他費用<br>(監査費用) | 0<br>( 0)                   | 0.001<br>(0.001) | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br>監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用  |
| 合計                  | 119                         | 0.767            |  |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

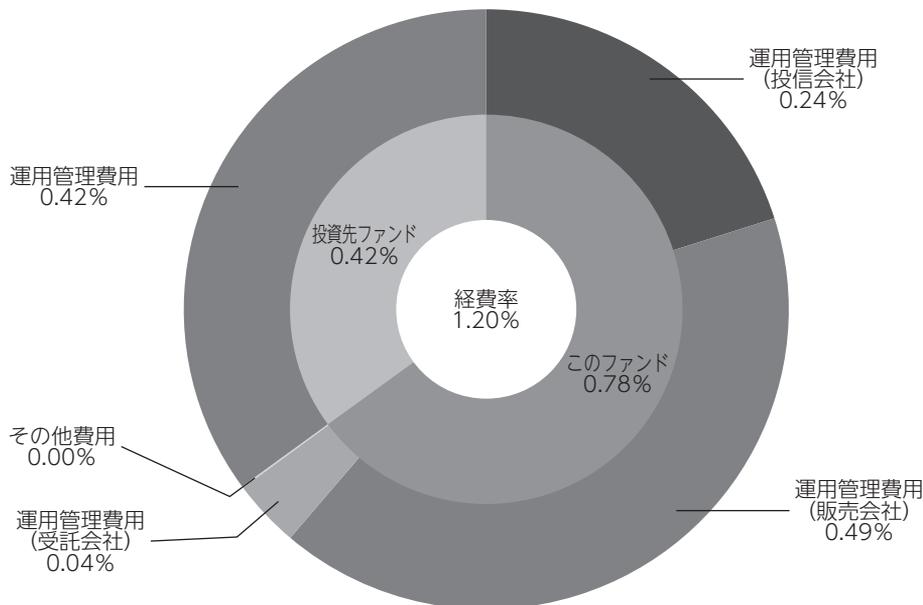
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

**(参考情報)**

## ◆経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.20%です。



|                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）（①+②） | 1.20% |
| ①このファンドの費用の比率                    | 0.78% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率               | 0.42% |

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

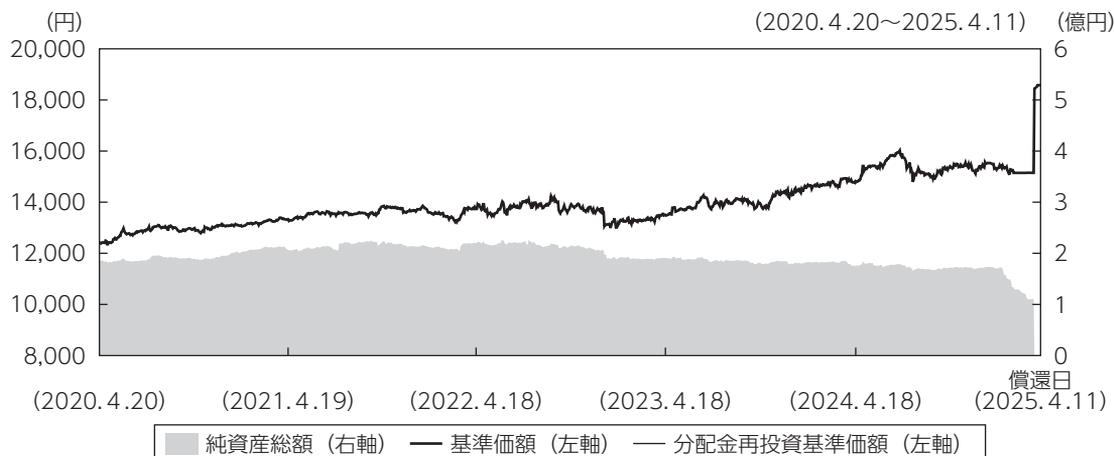
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年4月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

|                    | 2020年4月20日<br>期首 | 2021年4月19日<br>決算日 | 2022年4月18日<br>決算日 | 2023年4月18日<br>決算日 | 2024年4月18日<br>決算日 | 2025年4月11日<br>償還日   |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 基準価額 (分配落) (円)     | 12,430           | 13,334            | 13,735            | 13,506            | 14,817            | (償還価額)<br>18,576.87 |
| 期間分配金合計 (税引前) (円)  | —                | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                   |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%) | —                | 7.3               | 3.0               | △1.7              | 9.7               | 25.4                |
| 純資産総額 (百万円)        | 186              | 206               | 219               | 190               | 176               | 1                   |

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

## 設定来の投資環境

グローバル債券市場は上昇しました。中国の景気悪化懸念やECB（欧州中央銀行）の金融緩和などを背景に2016年にかけて上昇しました。英国のEU（欧州連合）離脱の決定などから下落する局面もありましたが、低インフレ、欧州の政治問題、米中貿易摩擦、コロナショックなどを背景に2020年にかけて上昇しました。2022年以降はインフレ高進による主要中央銀行の利上げにより、下落する展開となりましたが、その後は利上げ局面の終了、利下げ開始などから上昇しました。

為替市場は主要通貨が対円で上昇しました。2013年4月に日銀が量的・質的金融緩和を導入したことなどから2015年にかけて円安が進行しました。2016年に英国がEUから離脱することを決定するなどしたことでユーロや英ポンドを中心に対円で下落する局面もありましたが、2021年にかけてはもみ合いの展開となりました。その後は2023年にかけて主要国で利上げが行われたため、主要通貨が対円で上昇し、高値でのもみ合いとなり、償還を迎えました。

国内短期金融市場では、日銀の大規模な金融緩和政策の影響で、3ヵ月物国庫短期証券利回りは2013年から低下傾向で推移しました。2016年1月にはマイナス金利政策が導入されたことにより、同利回りは一段と低下しマイナス圏で推移することになりましたが、2024年3月にマイナス金利政策が解除されたことを受けて、同利回りはプラス圏となりました。その後も2024年7月、2025年1月に政策金利が引き上げられたことから同利回りは徐々に上昇しました。

## 設定来のポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I A M ケイマン・ファンドー J a n u s グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2 の組入比率は原則として高位を維持し、D I A M マネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●D I A M ケイマン・ファンドー J a n u s グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2

運用開始から2014年前半までは相対的に社債を多く保有しました。その後は国債比率を引き上げた一方、2018年は米中貿易摩擦などを懸念し社債比率を引き下げ、2019年はほぼ国債のみとしました。2020年3月にF R B（米連邦準備理事会）が無制限のM B S 買入を発表したことからM B S の比率を引き上げました。2023年以降、欧米が利上げ終了に向かう中、国債比率を引き下げ、社債比率を引き上げました。通貨は米ドルとユーロ、日本円を中心に保有しました。

### ●D I A M マネーマザーファンド

残存期間の短い国債、政府保証債、地方債などで運用を行いました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## お知らせ

### 約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「D I A M マネーマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

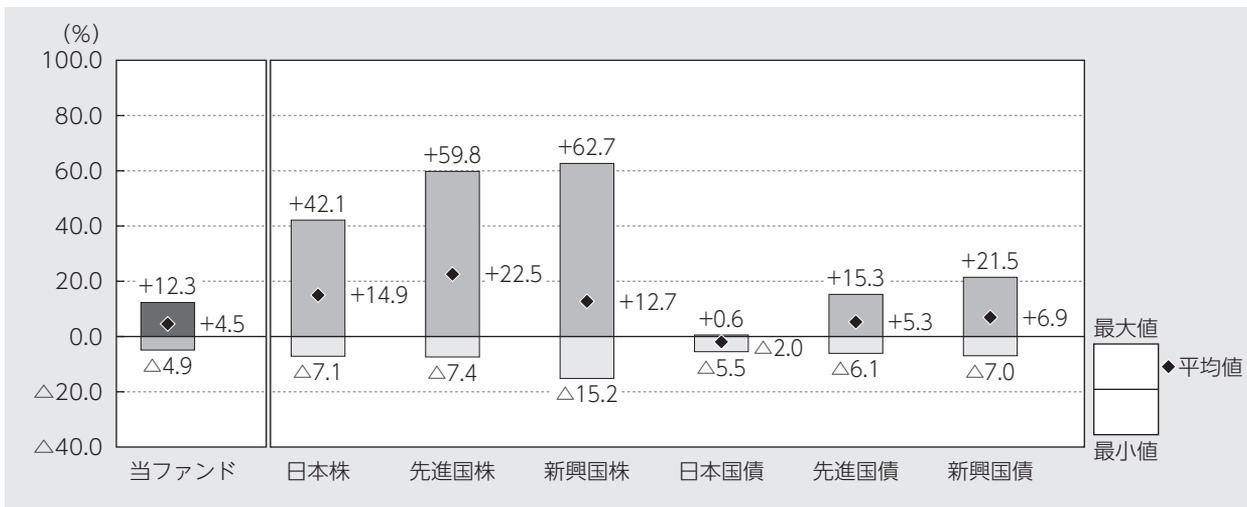
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 当ファンドの概要

|        |   |
|--------|---|
| 商品分類   | 追加型投信／内外／債券   |
| 信託期間   | 2013年4月2日から2025年4月11日（当初無期限）までです。   |
| 運用方針   | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。   |
| 主要投資対象 | 円建て外国籍投資信託「D I AMケイマン・ファンドーJanus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス J P Y 2」受益証券を主要投資対象とします。また、証券投資信託である「D I AMマネーマザーファンド」受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 |
| 運用方法   | 主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、実質的に内外債券に投資します。外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちますが、外国投資信託の流動性および当ファンドの資金動向等を勘案の上決定します。<br>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。           |
| 分配方針   | 決算日（原則として毎年4月18日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。                   |

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年4月～2025年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したもとして計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

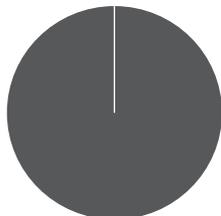
※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2025年4月11日現在）

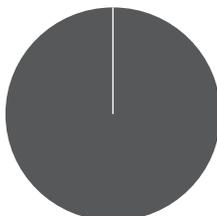
当ファンドに組入れておりました有価証券は期中に全て売却し、また親投資信託受益証券は期中に全て解約いたしました。

#### ◆資産別配分



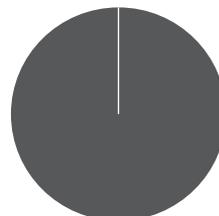
その他  
100.0%

#### ◆国別配分



その他  
100.0%

#### ◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

### 純資産等

| 項目         | 償還時        |
|------------|------------|
|            | 2025年4月11日 |
| 純資産総額      | 1,210,220円 |
| 受益権総口数     | 651,466口   |
| 1万口当たり償還価額 | 18,576.87円 |

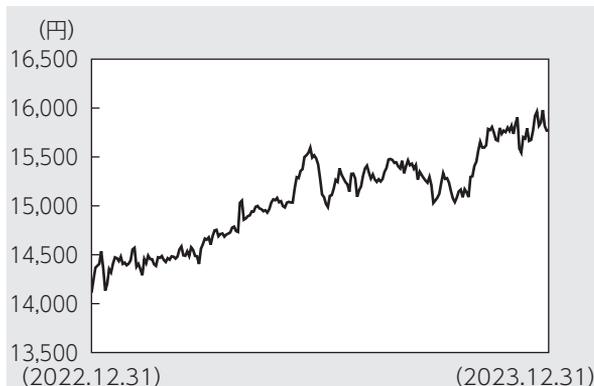
(注) 当期中における追加設定元本額は651,466円、同解約元本額は118,829,280円です。

## 組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

[DIAMケイマン・ファンド-Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス JPY2] (計算期間 2023年1月1日~2023年12月31日)

### ◆基準価額の推移



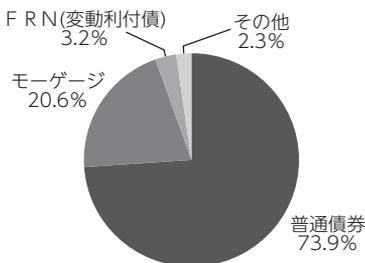
### ◆組入上位10銘柄

| 銘柄名   | 通貨    | 比率   |
|---|-------|------|
| JAPAN (GOVT OF) -363- BDS .1% 21-20/6/31                  | J P Y | 5.1% |
| JAPAN (GOVT OF) -355- BDS .1% 19-20/6/29                  | J P Y | 4.3  |
| FRANCE (GOVT OF) BDS 0% 22-25/5/32                        | E U R | 3.6  |
| FRANCE (GOVT OF) BDS 0% 20-25/11/30                       | E U R | 3.1  |
| CHINA (PEOPLE'S REPUBLIC OF) BDS 2.68% 20-21/5/30         | C N Y | 3.0  |
| GERMANY (FEDERAL REPUBLIC OF) BDS 1.7% 22-15/8/32         | E U R | 2.9  |
| UNITED KINGDOM (GOVT OF) BDS 1.625% 18-22/10/28           | G B P | 2.5  |
| CHINA (PEOPLE'S REPUBLIC OF) BDS 3.29% 19-23/5/29         | C N Y | 2.1  |
| CANADA (GOVT OF) BDS 2.25% 18-1/6/29                      | C A D | 2.0  |
| FEDERAL NATIONAL MORTGAGE ASSOCIATION MTGE 3.5% 22-1/5/52 | U S D | 1.7  |
| 組入銘柄数   | 150銘柄 |      |

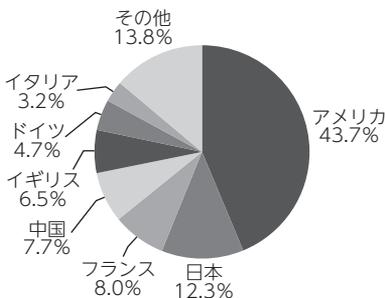
### ◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載していません。

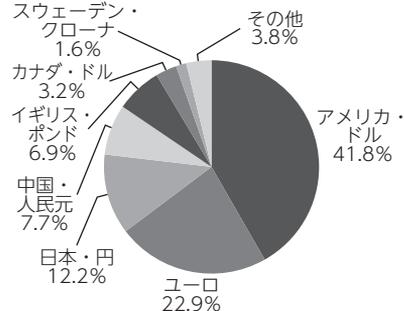
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



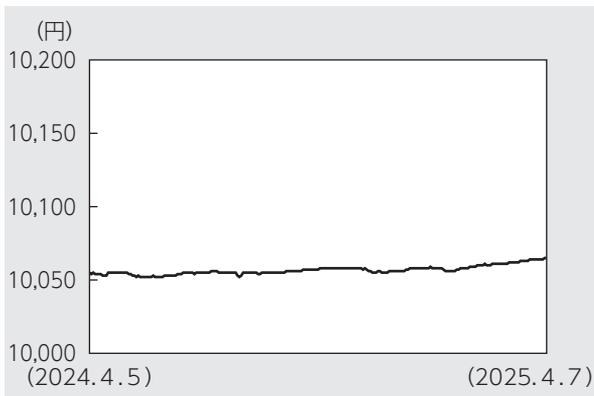
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はDIAMケイマン・ファンド-Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンド クラス JPY2の計算期間(決算日が休日の場合は前営業日まで)のものです。また、分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、DIAMケイマン・ファンド-Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドの決算日(決算日が休日の場合は前営業日)現在の状況を表示しております。
- (注3) 比率はDIAMケイマン・ファンド-Janus グローバル・コアプラス・ボンド・ファンドの純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。
- (注4) 現金等はその他として表示しています。
- (注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注6) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるルクセンブルグみずほ信託銀行のデータを基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

**[D I AMマネーマザーファンド]** (計算期間 2024年4月6日～2025年4月7日)

◆基準価額の推移



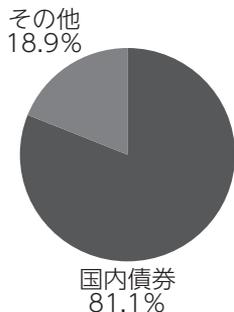
◆組入上位10銘柄

| 銘柄名                | 通貨   | 比率    |
|--------------------|------|-------|
| 1 2 8 9回 国庫短期証券    | 日本・円 | 12.9% |
| 1 2 8 3回 国庫短期証券    | 日本・円 | 10.3  |
| 1 2 6 7回 国庫短期証券    | 日本・円 | 10.3  |
| 1 2 9 0回 国庫短期証券    | 日本・円 | 10.3  |
| 1 2 9 1回 国庫短期証券    | 日本・円 | 10.3  |
| 1 2 8 0回 国庫短期証券    | 日本・円 | 7.7   |
| 1 2 7 9回 国庫短期証券    | 日本・円 | 7.7   |
| 4 5 7回 利付国庫債券 (2年) | 日本・円 | 5.1   |
| 1 2 6 1回 国庫短期証券    | 日本・円 | 2.6   |
| 1 2 4 4回 国庫短期証券    | 日本・円 | 2.6   |
| 組入銘柄数              | 11銘柄 |       |

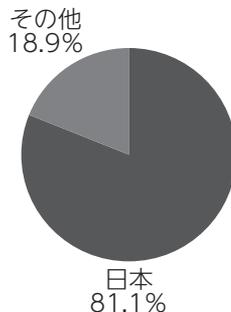
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

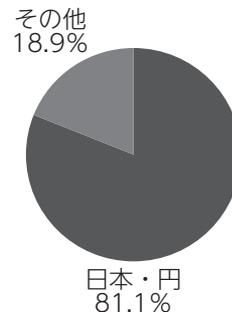
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

